
俺達

藍弥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺達

【ZZコード】

N5847D

【作者名】

藍弥

【あらすじ】

オリジナルのBLものです。18禁要素は含まれないと想つので、通常設定。

感情（前書き）

同性愛が苦手な方は見ない事をオススメします。

感情

…広人視点…

「好き・スキ・大好きい」

俺、菊地 広人は親友である、汎木 直人に言つた…言つて見た。

「あんだよ。」

直人はあつさり返してきた。

…何だよ、こつちが何だよ…だ。

「んー可愛い親友に好き、って言われたら理性ぶつ飛ぶかなってね。

」

直人とは青春真っ盛りな時代…つまり、中学生からの付き合いだけで、こいつの青春話を聞いたことがない。

…俺がいうのもなんだけど、ルックスはかなりいい。
女子も騒いでたしね。

「確かにお前が女だつたら、モテたかもな」

「はあつ？どーっせ、お前と同じように彼女いない歴は22年だよ！」

「失礼だな…お前と一緒にすることを至上、軽くあるから。」

ムツカアー！人が気にしてることを知ってるんだよ、直人のことは、本人が知らないようなことまで！
それに…

「お前、お前つて…中学ン時から名前で呼ばれたの数回だぜ？名前で呼んでくれつて…」

「広人」

…真剣な顔でじつと見つめられた。

直人の顔は綺麗に整つて…男のくせに睫毛が、長い、な…
「はい、これでお前の名前を言つたのは、4回だよな」
ニヤリと笑いながら頭をポンッと叩かれた。

「なつ直人！」

10年で4回しか名前で呼ばないって…どんなだよ！

「ほら、どーぞおお酒。ストレス発散にグツとね、グツと…」

直人が俺に杯を持たせる。

「そーだな、会つてから10年記念日だし…酔つて今までの直人への鬱憤を言うかな！」

グイッと口に酒を流し込んだ。

ん、ちょっとアルコール強、い…。

「お、よく飲んだな…酒、苦手なんじゃ無いのか？」

…

そうだ。俺は…酒、駄目らつたら…つけ

4

そつから先の記憶は無い。
…が、

チュンチュン…

すずめの声で起きた。

んー…頭が痛い。

2日酔いつてヤツだよな…

ガバッと勢いよく起きあがつた。

「…な！？」

服を着てない、下着は着てるが上に着てない…！

「…ううん？」

直人が目を覚ます。

「あ…お前か、はよ」

…さつさわやかな笑顔で、はよ、と言つ直人は…服を着てなかつた。

「じつゴメン！」

「あ～？」

「俺が酔つて、直人にいつ、いかがわしい事したんだろお…！」
パニック状態になつた俺は泣きながら、謝つた。

「はあ？…ああ、お前覚えてねえんだな？」

「？うん」

「なら、いい。別にいかがわしい事なんてしてねえよ」
直人は不敵に笑つて見せた。

その笑いは、今の俺にはとても恐ろしい…
絶対、俺がなんかしたんだ…！！

「俺つ帰るうつ」

ダダダツと直人の家の玄関まで走る。

「その格好でかあ～？」

俺はすぐに直人の元へ戻つていつた。

…直人視点…

あああ…

可愛い、可愛すぎる。

男より男前な女が居るように、そこいらに居る女よりも、コイツ…ひ
つ広人は可愛い。

22のクセ、168cmという小柄な身長。

168cmは俺とコイツが出会つた時の、俺の身長だ。

「…」

大きな目に涙を浮かばせながら黙る姿は、コイツにしか似合わない

と囁く。

「…」

キヨシと結ぶ口は、よつロイシの可憐なしきれを増していく。

「…」

子供が怒られて居るみたいに、正座をしている。

「…直人」

ふいに名前を呼ばれた。

「なんだ」

「俺：本当に何も、していないんだな？」

「あ…俺の想いが分ってる筈も無い。」

知っていたら、引かれるだろ。」

「何も、無いって言つてるだろ」

「…でもっ」

「なんだ？何か、あつて欲しかったのかよ」

「俺は…何かあつて欲しかったが、言わない。」

「つっ！なっ！なわけねえだろ！？」

「だあつたら…何もなかつた、でいいだろ」

「じゃあ、何で…」

「あ？」

「パンツだけで寝てたんだよ…」

…そつそれは、

「真っ裸で外に出ようとしたお前を引き止めた後にパンツだけ履かせたから、だ。」

「…………」

「…………」

「…………ゴメン～～つ」

つー目から大粒の涙がボロッボロと落ちる。

「酔つた勢いだな、勢い。」

「んつ？」

チウとコイツの唇が俺の頬に触れる。

「なつ！」

俺の顔が熱くなつた。

「へへつ！知つてゐるんだぜ、直人……お前が俺を」

好きだつて事が…

か？

感情（後書き）

文が下手だらめんなやつ…もひとつ上手くなるよう、頑張ります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5847d/>

俺達

2010年10月11日01時53分発行